



第3期 大竹市地域福祉計画

令和2(2020)年度～令和7(2025)年度

支え合い
共に生きる
助縁のまちづくり



令和2(2020)年3月

大竹市

第3期大竹市地域福祉計画の 策定にあたって

本市では、平成19（2007）年に「大竹市地域福祉計画」、平成25（2013）年に「第2期大竹市地域福祉計画」を策定し、「地縁から助縁（自助努力をしながら、助け合うボランティアの縁）へ」を基本理念として定め、地域福祉推進のための取組を行ってまいりました。



「第2期大竹市地域福祉計画」策定から7年が経過しましたが、この間も少子・高齢化の進行や人口減少など社会環境が目まぐるしく変化し、地域福祉を取り巻く状況は、より厳しいものとなっています。複雑化・多様化した地域課題は行政の福祉制度のみで対応することが難しく、これからの地域福祉は、いかに市民の力を引き出すか、地域のつながりを生み出していくかが問われます。

幸いなことに本市は、地縁や血縁といった昔からの地域のつながりが比較的保たれているまちであり、市内のいたるところで助け合う市民の姿を目にすることができます。これは、まちとして大きな強みですが、一方でその強みも社会環境の変化によって薄れつつあります。

こうした状況を踏まえ、本市としてこれまでの地域住民相互の自然なつながりに加え、世代や分野の垣根を超えてつながる地域福祉のあり方を示す「第3期大竹市地域福祉計画」を策定いたしました。

新しい地域福祉計画が、これからも市民が安心して住み続けられる大竹市をめざすうえでの指針となり、「支え合い 共に生きる 助縁のまち」の実現に向けて取り組んでまいりますので、皆様のご支援ご理解をお願いいたします。

おわりに、この計画の策定にあたり参画いただきました大竹市地域福祉等推進協議会委員の皆様をはじめ、ご協力をいただきました多くの皆様に深く感謝申し上げます。

令和2（2020）年3月

大竹市長 入山 欣郎

◆◆ 目 次 ◆◆

第Ⅰ編 総論	1
第1章 地域福祉計画について	1
1. 地域福祉計画の趣旨	1
2. 地域福祉の考え方	1
3. 計画の位置付け	2
4. 計画の期間	3
第2章 計画策定の体制	4
1. 推進協議会等の開催	4
2. 計画策定のための取組	5
3. ワークショップの開催	9
4. パブリックコメントの実施	10
第3章 大竹市の現状	11
1. 大竹市の概況	11
2. 人口の推移と推計	11
3. 世帯の推移	13
4. 各地区の状況	14
5. 高齢者を取り巻く状況	15
6. 障害者を取り巻く状況	15
7. 健康・保健を取り巻く状況	16
8. 子どもを取り巻く状況	17
9. 生活困窮者を取り巻く状況	17
第4章 第2期計画の振り返り	18
1. 第2期計画の評価と課題	18
2. 重点課題の振り返り	23
第5章 計画の枠組み	25
1. 計画の基本理念と将来像	25
2. 取組の方向性	26
地域の支援の輪（イメージ）	27
 第Ⅱ編 各論	 28
計画の体系	28
第1章 地域間の交流促進のため、地域で集まる場づくり、イベントの推進	29
1. めざす姿（ビジョン）	29
2. 取組の方向性	29

第2章 地域組織・団体活動の推進	31
1. めざす姿（ビジョン）	31
2. 取組の方向性	31
第3章 地域の相談体制・情報提供の仕組みづくり	33
1. めざす姿（ビジョン）	33
2. 取組の方向性	33
第4章 援助を必要とする人の把握と支援	35
1. めざす姿（ビジョン）	35
2. 取組の方向性	35
第5章 福祉サービスの提供・連携枠組みづくり	37
1. めざす姿（ビジョン）	37
2. 取組の方向性	37
第6章 福祉ネットワークの構築	39
1. めざす姿（ビジョン）	39
2. 取組の方向性	39
第7章 地域福祉の担い手の育成	41
1. めざす姿（ビジョン）	41
2. 取組の方向性	41
第8章 誰もが自分らしく暮らせることを守る制度などの促進	43
1. 個人の尊厳が保たれ支え合える地域社会をめざして（大竹市成年後見制度利用促進基本計画）	43
2. 再犯防止の取組について（大竹市再犯防止推進計画）	45
 第Ⅲ編 地域福祉の推進に向けて	 49
1. 計画の周知	49
2. 連携・協働による地域福祉の推進	49
3. 計画の評価	49
 資料編	 50
1. 大竹市地域福祉等推進協議会委員名簿	50
2. 大竹市地域福祉等推進検討会議委員名簿	51
3. 大竹市再犯防止推進計画の策定に向けた意見交換会	52